施設案内

5F	セミナールーム A・B 生活工房受付	音響・映像設備を備え、講習会や会議を行うことができます（定員48名）。A・Bの仕切りを外せば最大120名収容（机使用時は108名）。
4F	ワークショップルーム A・B	「A」はキッチンや調理器具などを備えた“ものづくり”スペース。「B」は可動パネルにより多様な展示に対応したスペース。
3F	生活工房ギャラリー	生活や文化に関する様々なデザインを独自の視点で提案・発信する展示スペース。新たな発見が暮らしを彩ります。
	市民活動支援コーナー	世田谷で活動する市民活動団体のため、打合せや作業スペース、プリンタや印刷機などを備えています。
2F	八角堂	特設ジオラマを使って映像作品を上映。上映スケジュールはホームページでご確認下さい。（中面も参照して下さい）

- トイレにはおむつ交換台があります。個室にチャイルドシートはありません。
- 5Fには授乳室、3Fの車いす対応トイレにはオストメイト用設備を備えています。

施設のご利用について　詳しくは生活工房ホームページをご覧ください。

アクセス



東急世田谷線「三軒茶屋」駅 直結

東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

東急田園都市線「三軒茶屋」駅 三茶パティオ口 徒歩5分

お問い合わせ

（公財）せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター 生活工房
〒154-0004 世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
TEL 03-5432-1543／FAX 03-5432-1559

website http://www.setagaya-ldc.net/
twitter @setagaya_ldc
facebook 生活工房

Design: Nakazo Katayama



PICK UP 1

和紙をプロダクトする（アートスペース涙）

日本家屋に欠かせない素材であった和紙。高温多湿の夏には水分を吸収し、乾燥する冬に水分を吐き出します。和紙は日本の風土を呼吸して私たちの暮らしを快適に保ってきました。

そして和紙は今、「住まうための素材」だけではなく「着るための素材」として、洋服生地への応用・研究が進められています。本展では、ファッションデザイナー浜井弘治氏とともに、和紙にこめられた先人の知恵に触れつつ、和紙を先端素材として捉え、和紙糸（わしいと）と和紙プロダクトの未来を探ります。

気候変動の影響で2100年には年間平均気温が現在より2〜3℃上昇すると予測される日本。木綿の10倍の吸水性と3分の1の軽さをもつ備後（びんご）（広島県福山市）の工場が開発した和紙糸は、来るべき未来の服の素材となる可能性があります。

展示では、和紙布の原材料・生地・衣服を使った空間演出で、多様な和紙プロダクトを紹介し、シャリッとした和紙布ならではの心地良さを、手に触れて体感していただきます。

また、和紙が糸となり布になるまでの技術やドラマを、かねてから浜井氏と交流のある漫画家・内田春菊氏のイラストレーションで楽しく解説します。機能と美を備えた和紙プロダクトに、未来の手触りを感じてください。



イラストレーション：内田春菊

EXHIBITION　※詳細は中面をご覧ください

WASHINOITO 未来を着る、浜井弘治の和紙のプロダクト展

2015 12.26（土）→ 1.24（日）（12.29 → 1.3は休館）
9:00〜20:00　入場無料　会場：生活工房ギャラリー



PICK UP 2

写真：永峰拓也

世田谷通りと国道246に挟まれた三軒茶屋のデルタ地帯――通称「三角地帯」。戦後に立った闇市の名残を感じるこの一角は、懐かしさの漂うアーケイドの商店街と小さな飲食店がひしめく歓楽街が隣り合い、年季の入った建物と細い路地が迷路のように入り組みます。

日中は買い物客の往来で賑わい（抜け道としても便利!）、日が暮れ、飲食店の明かりが灯れば、狭いカウンターに肩を寄せ合うように人々が集います。そして、気がつけばはしご酒に……。しばしば“三茶の迷宮”と紹介されるその猥雑な空間は、地元住民だけでなく、多くの呑兵衛たちにも親しまれています。

本展は、そんな三軒茶屋の迷スポットである三角地帯をさまざまな角度から調査した展示です。その成り立ちや戦後の風景に想いを馳せながら、考現学を提唱した建築研究家・風俗研究家の今和次郎の手法にならい、三角地帯の店舗やそこを訪れる人を記録します。

ローカルな土地の魅力を留める三角地帯を、地域の文化そして地域の風俗として切り取ります。

EXHIBITION　※詳細は中面をご覧ください

三軒茶屋　三角地帯　考現学

1.30（土）→ 2.28（日）　9:00〜20:00　入場無料　会場：生活工房ギャラリー

2016 イベントガイド

みる×しる×つくる＝暮らしがかわる。

1 January

2 February

3 March

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

1・2・3月の生活工房

EXHIBITION

WASHINOITO
未来を着る、
浜井弘治の和紙のプロダクト展

2015 12.26（土）→ 1.24（日）
（12.29 → 1.3は休館）
9:00〜20:00　入場無料
会場：生活工房ギャラリー


サルエル和紙デニム（生地生産：広島県福山市／縫製：山口県山口市）

ファッションデザイナー浜井弘治氏とともに、和紙にこめられた先人の知恵と、「着る和紙」の視点から、和紙糸のプロダクトの未来を探ります。

関連プログラム

ワークショップ「和紙布でつくるトートバッグ」

1.16（土）　13:30〜15:00／16:00〜17:30　※各回完結
※10:30の回は定員に達したため、申込受付を締め切りました。
会場：ワークショップルームA



和紙布を材料に簡単ソーイングのトートバッグをつくります。男性にもおすすめのデザインで、色はオフホワイト・綿キャンバスほどの厚みですがとても軽いのが特徴です。

講師　浜井弘治（ファッションデザイナー）
対象　中学生〜一般
参加費　2,500円／各回20名（先着）
申込　電話かメールにて

公開インタビュー「和紙布に未来はあるのか?!」

1.17（日）　14:00-15:30　会場：ワークショップルームA

国際競争のなか苦境にある日本の繊維業。和紙布は産業を動かす素材となり得るのか、世界の動向を知るファッションジャーナリストを迎え、和紙糸の開発から洋服の流通の仕組みまで、浜井氏に話を聞きます。

講師　浜井弘治、松下久美（「WWDジャパン」シニアエディター）　対象　一般
参加費　500円（学生300円）／50名（先着）　申込　電話かメールにて

WORKSHOP

SUNDAY MORNING WORKSHOP # 3
みんなでつくってみんなで食べる日曜日のパスタ

1.24（日）| 31（日）
10:00〜13:30　※2回完結
会場：ワークショップルームA


写真：永峰拓也

イタリアの家庭の「難しくない、でも手間と時間をかけてつくる」パスタ料理。2日間かけて、普段の日曜日と、お祝いなど特別な日曜日をテーマに取り組みます。

講師　宮浦宜子（Life on the table）　対象　20歳以上で2回とも参加できる方
参加費　3000円／20名（抽選）　申込　1月12日（必着）までに往復ハガキかメールにて

EXHIBITION

三軒茶屋　三角地帯　考現学

1.30（土）→ 2.28（日）　9:00〜20:00　入場無料
会場：生活工房ギャラリー


写真：永峰拓也

三軒茶屋にある世田谷通りと国道246に挟まれた「三角地帯」。細い路地に小さな飲食店がひしめく歓楽街であるこのエリアは、時に“三茶の迷宮”といわれます。本展は、三角地帯の店舗やそこを訪れる人を観察、記録し、地域の文化・風俗として切り取る展覧会です。

関連プログラム

トークイベント「都築響一のフィールド・ノート――記録し、記憶すること」

2.6（土）　15:00〜16:30　会場：セミナールームA・B

独自の視点で文化や風俗を切り取ってきた編集者の都築響一氏に、都市化や近代化とともに失われつつある風景を記録・記憶することの意味についてお話し頂きます。

講師　都築響一（編集者）　参加費　500円／60名（先着）　申込　電話かメールにて

トークイベント「セタガヤ・ローカルの歩き方」

2.28（日）　15:00〜16:30　会場：セミナールームA・B

世田谷で生まれ育った漫画家のしまおまほ氏と編集者の草彅洋平氏に、地元の人ならではの“世田谷の歩き方”を紹介して頂き、知られざるセタガヤの魅力を再発見します。

講師　しまおまほ（漫画家・コラムニスト）、草彅洋平（東京ピストル）
参加費　500円／60名（先着）　申込　電話かメールにて

EVENT

国際交流 in せたがや 2016

2.20（土）　13:00〜16:00
会場：ワークショップルームA・B



在日外国人との文化交流会を開催。アトラクションやお茶・和服着付けなどを体験しながら互いの理解を深めます。各国大使館の展示ブースもあります。

共催　世田谷海外研修者の会　参加費　1,000円（飲み物・菓子込み）
申込　2月10日までに世田谷海外研修者の会・田中（TEL.03-3422-4406）へ

EXHIBITION

時間をめぐる、めぐる時間の展覧会

3.5（土）→ 3.21（月・休）　開場時間：真昼から、暗くなるまで　入場無料
会場：ワークショップルームA・B、生活工房ギャラリー
共同企画制作：セセンシトカ



24時間・365日の時計とカレンダーのなかで生きているように見える私たち。忙しさと自由が混在する現代の時間と、それぞれの地に生きる命が積み重ねてきた時間をめぐりながら、これからの私たちの時間を考える展覧会です。

※詳細は1月下旬にホームページでお知らせします。

EVENT

市民活動・NPO活動を支えるコミュニティづくりセミナー
仲間・サポーターを増やすには

「自分たちのコミュニティの魅力を高める！」

3.8（火）　18:30〜21:00　講師：呉哲煥（NPO法人CRファクトリー代表理事）
会場：セミナールームA・B　企画進行：株式会社世田谷社

「自分たちのコミュニティの推進力を高める！」

3.15（火）　18:30〜21:00　講師：五井渕利明（NPO法人CRファクトリー 事業部長）
会場：セミナールームA・B　企画進行：株式会社世田谷社

団体活動におけるコミュニティづくりの大切さと、実際にコミュニティづくりを進めていく方法について学びます。

※詳細は12月下旬にホームページでお知らせします。

対象　NPOのスタッフ・役員（中堅者向け）　参加費　各回1,000円（1団体から複数参加の場合、2人目から半額）／各60名（先着）　申込　1月10日（日）より電話かメールにて

WORKSHOP

中学生次世代車教室2016
電動三輪車E3をつくろう！

3.13（日）　11:00〜16:00
3.20（日・祝）　11:00〜16:00
3.27（日）　8:00〜17:00
※3日間で完結／各回とも時間予定
会場：東京都立総合工科高等学校（13、20日）
試走会：トヨタ東京自動車大学校（27日）


電動三輪車E3（試作車）

世田谷の新しい交通を考える乗り物として『電気三輪車E3』を組み立てながら、自動車と地球環境エネルギー問題について体験学習をします。

企画進行　日本EVクラブ　共催　東京都立総合工科高等学校、トヨタ東京自動車大学校
対象　小学6年生〜中学3年生（世田谷区在住在学）　参加費　3500円／30名（抽選）
申込　2月29日（必着）まで往復ハガキにて

※詳細は1月中旬にホームページでお知らせします。

EXHIBITION

MADE IN OCCUPIED JAPAN 1947-1952
海を渡った陶磁器展

3.26（土）→ 4.17（日）
9:00〜20:00　入場無料
会場：生活工房ギャラリー



第二次世界大戦後、連合国の占領下にあった日本。民間貿易が再開された1947年から約5年間の輸出品には「Occupied Japan」と刻印がされました。復興のエネルギーを感じる美しい陶磁器コレクションを紹介し、日本のものづくりから戦後70年をふりかえります。

EVENT

森・里・海の連環による豊かな海づくり
「レリーフジオラマ」上映会

入場無料
会場：キャロットタワー2F・八角堂



自然の営みと人の関わりを紹介する映像作品（約5分）を上映します。上映スケジュールや詳細はホームページをご覧ください。

セミナー

朗読講座　豊かなことばの世界

暮らしを豊かにすることばの世界を「朗読」を通して楽しむ講座です。NHK日本語センターアナウンサーが、声の出し方、聞き手に伝えるための読み方を丁寧に指導します。

1. 水曜講座（午前／午後）　〈名作を読む〉
1.27（水）| 2.3（水）| 17（水）| 24（水）
各回10:30〜12:30／13:30〜15:30
講師：岩井正（NHK日本語センター）　作品：森鷗外著『最後の一句』

2. 木曜講座（午後）　〈はじめての朗読〉
1.28（木）| 2.4（木）| 18（木）| 25（木）　各回13:30〜15:30
講師：秋山隆（NHK日本語センター）　作品：伊藤左千夫著『野菊の墓』

3. 金曜講座（午後）　〈はじめての朗読〉
1.29（金）| 2.5（金）| 19（金）| 26（金）　各回13:30〜15:30
講師：金野正人（NHK日本語センター）　作品：夏目漱石著『坊っちゃん』

会場：セミナールームA
受講料（4回分）：一般20,500円、アーツカード18,500円／15名（先着）
問・申込：（一財）NHK放送研修センター
TEL. 03-3415-7121（受付時間9:00〜18:00）　HP http://www.nhk-cti.jp/

関連プログラム

豊かなことばの世界 朗読発表会



3.6（日）　13:30開演
会場：セミナールームA・B

朗読講座受講生たちによる公開発表会。ことばが開く豊かな時間、体感ください。

参加費　無料　申込　不要。当日会場にお越しください。

WORKSHOP SEMINAR

ワークショップ／セミナーの申込方法

●電話　03-5432-1543
●往復ハガキ／メール［希望イベント名・希望日・住所・氏名・年齢（学生は学年も）・電話番号を明記の上、下記宛先まで］
ハガキ：154-0004 世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー 生活工房宛
メール：info@setagaya-ldc.net（件名に希望イベント名を明記）